

アーチペラゴインターナショナル
アグン山の火山活動活発化に関する現状のご報告

(展開ホテルブランド…フェイブ、ネオ、クエスト、ハーパー、アストン、アラナ、カムエラ等)

2017年10月3日現在

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

フェイブ、ネオ、クエスト、ハーパー、アストン、アラナ、カムエラ等、7つのブランドを、インドネシア中で展開しております、アーチペラゴインターナショナルですが、バリ島にも18のホテルやヴィラがございます。

この度、アグン山の警戒レベル引き上げに伴い、たくさんのお問合せ、一部キャンセルもいただいておりますが、現在の所、アグン山は噴火しておらず、ホテル、空港、観光客の集まる南部スポット、ウブド等は平常通りの賑わいです。

日本の報道では、10万人以上もの方が避難して、バリ島は大変な事になっているような報道が先週を中心に連日続きましたが、避難対象はアグン山近辺の12km以内に住んでいる住民のみで、元々、バリ島には400万人以上の方が暮らしている事等、一切報道されておられません。

又、ここ2~3日の報道では、火山性地震も減ってきていて、バリ州知事が避難対象を12kmから9km以内に縮小して、7万人に限定するという発表もなされています。このまま何事も無く、鎮静化していく事を祈るばかりです。

空港の近辺のトゥバンエリアにも、フェイブクタカルティカプラザ、フェイブクタスクエア、クレストクタ、アストンクタ等幾つかございますので、安全かつ安心にご帰国いただけるようサポートさせていただきます。

バリ島は元々神々の島と言われ、聖なる山アグン山の為に、今日もたくさんの住民が祈りを捧げています。自然の摂理には逆らえませんが、皆の祈りが山に届き、このまま何事もなく鎮静化し、避難している人々が、一日でも早く日常を取り戻せるよう祈るばかりです。

アーチペラゴインターナショナル
マーケティングマネージャー
宮崎直美